

集計日：令和7年7月4日

令和7年度 第1回 河内長野市U R 南花台団地集約跡地活用整備事業 推進委員会

議案		表決
案件1	工事進捗と今後のスケジュール、住民説明会開催の予定について	—

(委員からの意見)

- 委員
- ・自動車動線の説明図がわかりにくい。
 - ・工程表の黒線と赤点線の違いは何ですか。
 - ・これは住民の方に配布するのであれば、情報を整理してわかりやすくして下さい。
- 委員
- ・工事進捗と相俟って、本跡地活用整備事業に関し住民の関心が高くなってきている。
 - ・出来れば、工事完成まで節目においてあと数回、住民説明会を開催されたい。
 - ・ただし、住民説明会を開催するに当たっては、事前に説明内容等について本推進委員会に諮ったうえで実施されたい。
- 委員
- 住民の理解が大切と思います。

集計日：令和7年7月4日

令和7年度 第1回 河内長野市U R 南花台団地集約跡地活用整備事業 推進委員会

議案		表決	
案件2	公衆トイレ棟の設計状況について	案① 3	案② 5

(委員からの意見)

委員 外部：

パースは青色っぽいのが、見本にあるようにグレー（or黒）だと思って回答します。
どちらでも良いと思いますが、案①も良いと思います。（参考例を添付）

委員 内部：

汚れにくく、汚されにくいものが良いと思います。ツルツとしたものとか。
掃除が容易にできるものが良いでしょう。カッティングシートで楽しく演出できる可能性があるものとか。
案②はお薦めしません。案①のほうが良い。
細めのストライプに出来たら楽しそうですが・・・。

委員

案①は木の優しい印象の屋根とはミスマッチに感じます。
コストが合わないなら屋根も含めて再検討をすべきではないかと思います。
いずれの案にしても明度を下げすぎない方がよいと思います。

委員

入りやすい、暖かい印象がある方として、案②を選択した。

委員

以下の条件がわからないので、現在の資料では選択できません。

- ・屋根裏は木のようなのですが、屋根の素材は何ですか、案1と2は同じですか、壁の材料や色は屋根（屋根裏も）のデザインとのバランスがあると思います。
- ・色がブルー系のように見えますが、ブルーは合わないと思います。明るい色めの方がいいと思います。ただし、隣接する要素、例えば、Aゾーンであれば横の倉庫？やBゾーンであればバス停としての設えとの調整を考えた上での選択となります。
- ・ガルバリウム鋼板（P8）は、イメージ図では波板の波の幅が動いているようですが、どのような板を使うのですか。コスト優先でガルバリウム鋼板でも問題ないですが、色と波板のタイプは今後調整できるのですか。
- ・構成要素を個別に決めるのではなく、地区全体のデザインとして提案して下さい。事業費の関係で全体のコストダウンが求められているのは理解しています。だからこそ、どこでコストダウンするかは全体のバランスだと思います。

委員

- ・意見は、案2がベターと考えるが、予算的に整備が無理となれば案1でも致し方ない。
- ・コストを抑えるため、設計変更を余儀なくされるのであれば案1でも仕方ないと思う。ただ、施工にあたっては、通気性（匂いの拡散防止）や音（利用者の水洗音）が漏れないよう配慮が必要と考える。また、犯罪の防止（例えば、上下部の隙間から盗撮や覗き見）の観点から十分な設計考慮が求められる。

委員

公衆トイレは必至であり、予算につらうようにお願いしたい。

集計日：令和7年7月4日

令和7年度 第1回 河内長野市U R 南花台団地集約跡地活用整備事業 推進委員会

議案		表決	
案件3	複合型遊具検討の進捗と今後の予定について	賛成 8	反対 0

(委員からの意見)

委員 想定されるユーザーの意見を聞くことは大切だと思います。特にすでにコミュニティが形成されている使い手が主体的に利用に関われるようなきっかけとしてヒアリングを位置づけることは大切かと思います。

一方で、ユーザーに直接的に求める空間を聞くことは意味がないと思います。例えばどんな遊具がよいかを聞くのはよいヒアリングとは言えません。特に子供に直接聞く場合には十分な検討が必要だと思います。顕在化している空間像を把握するためではなく、潜在的な利用のニーズについて聞き出せるようなヒアリング項目の工夫が必要だと思います。こういうことをしてみたい、こういうふうに過ごしたい、こんな主体的な活動をやってみたい、ということの可能性を把握し、それを育てていけるような空間については専門家が検討すべきだと思います。

委員 「遊具」と聞くと、一般的にはブランコなどを思い浮かべるので、「よく行く公園では、どんな遊具でどんな遊びをしていますか？」に加えて、「よく行く公園で、遊具を使わずに遊んでいる場合（たとえば、広場で鬼ごっこなど）」も聞いた方がよい。

委員 遊具の聞き取りという直接的アプローチではなく、どのような遊びが楽しいか、遊び場として設えていないところでも遊んでいると思いますので、そうした場所や空間を知ることが、デザインの手がかりになると思います。

整備方針を確認し、地形の作り方やオリジナルな遊び空間をどの程度作るのかを設定した上で、何を知りたいたかを共有して、実質的に有効な調査をした方がいいと思います。

調査目的を明確にしておかないと、調査結果がうまく生かされない時に、調査された側にも不満や不審が残ります。現実的対応と日程設定が大事だと思います。事例を見せるのもいいと思いますが、整備のイメージを伝えて聞いてもよいかもしれません。

公園や整備された場所での遊びのほかに、遊びを作り出せる環境がわかるとういことだと思います。子供の年齢によって求める空間が違うと思いますし、最近は、年代を超えての遊びが減っているように思いますが、どうなのでしょう。そのあたり、何を知りたいたいか、ある程度目的を調査者で共有しておく必要があると思います。

委員 ・Aゾーン、Bゾーンの公園について機能別に分別してどうか。

例えば、サッカー場が整備されるAゾーンについては、躍動的なイメージ（「動」のイメージ）のもと、子供向け遊具のほか老若男女問わず運動に利用可能な遊具または健康増進のための設備を整備されては如何。

一方、Bゾーンについては、林的なイメージ（「静」のイメージ）とし、整備する遊具は過剰な遊具等は設置せず、アンケートにもある子育て支援や幼児等年少者の利用を考慮した幼児や子供向けの遊具を主に配置（ただ、高齢化率の加速が著しい南花台住民のために大人も利用できる健康増進を目的とした最小限の器具の設置は必要）しては如何。

・また、Bゾーンには、夏に住民が一堂に集う夏祭りの開催が可能となるよう（南花台自治協議会からの強い要望あり）中央部に芝生が敷設された小丘が整備されるようであるが、中央部の芝生ゾーンには遊具を設置しないで親子や家族が芝生を利用してピクニック（親子が敷きマット等を利用して寝ころび、寛ぐ等親子の絆を深めるイメージ）ができる公園にしては如何。

・なお、近年は異常気象と相俟って高温の日々が増加する中、子ども達の水遊びが可能な噴水や「せせらぎの遊び場」を設置しては如何。

委員 ・複合型遊具 <地形を利用したもの。できるだけ予算に見合った方向で。
・夏草の処理を必要としない公園づくりを。

集計日：令和7年7月4日

令和7年度 第1回 河内長野市U R 南花台団地集約跡地活用整備事業 推進委員会

議案		表決	
案件4	にぎわい施設事業者公募スケジュールと方針について	賛成 8	反対 0

(委員からの意見)

委員 施設の運営についてだけの内容ではなく、公園全体への貢献、公園利用者の体験の質の向上に寄与できる事項等についてもヒアリングできるといいと思います。

委員 サウンディング調査期間が令和7年5月30日（金）～になっていますが、実際にはいつからの予定でしょうか。

委員 スケジュールがよく理解できません。
 整備において、施設の設計と工事と事業の担い手（企画運営）はどのように関わるのですか。
 何をするのか、どのように運営するかが、設計条件になると思いますが、そうした条件設定がこのスケジュールでは設計に反映されないように見えるのですが。
 事業は指定管理になるのですか？それでも、企画運営が施設に反映されることは重要だと思います。汎用性の高い箱を作りたいというならば、そのデザインはかなり高度です。そうでなければ、賑わいには繋がらないと思います。
 サウンディング調査とは何を目的にするのですか。

委員 にぎわい施設とその環境を一体化する。
 にぎわい施設を拠点に公園に散歩コースを作り、スタート・ゴールをその拠点とする。コースは公園周回、半周回、1/3周回とし、各自の体力に見合ったコースを利用し、体力維持に。
 車イス、御杖利用者、親子の散歩などすべての方が利用できるように。

集計日：令和7年7月4日

令和7年度 第1回 河内長野市U R 南花台団地集約跡地活用整備事業 推進委員会

議案		表決	
案件5	推進委員会副会長の選任について	賛成 9	反対 0

(委員からの意見)

特になし